

平成 20 年 10 月 31 日

村上市長 大 滝 平 正 様

荒川地区地域審議会
会長 会 田 健 次

市総合計画策定に向けた荒川地域のまちづくりの基本的方向について
(答申)

当地域審議会に諮問された「市総合計画策定に向けた各地域のまちづくりの基本的方向（合併市町村基本計画上のゾーニング）」について、短い期間ではありましたが、委員各位のご理解とご協力により、活発な議論を重ねてまいりました。

議論の中では、近年、水質日本一の川として定着し、日本の名水百選にも選ばれた荒川について、「漁業振興や農水産物のPRなどに活用することができる」「今後は市内他地域の河川と一体的な事業展開・効果が期待できる」などの意見が出され、水資源の有効利用が今後のまちづくりの重要な要素であることは委員各位の一致した意見でありました。

審議の結果として、合併市町村基本計画で示された当地域の内容を基本としながら、地域医療拠点施設の充実をはじめとする居住環境をバランスよく整備すること。また、「日本一の清流 荒川」という資源を有効活用し、農業・漁業・商業や観光などの各分野の振興を図ること。さらに、豊富な地域資源を誇る村上市のポテンシャルを十分に活かすためには、地区の枠組みを越えて、清流荒川をはじめとするそれぞれの地域資源を一体的に捉えたまちづくりを進めるべきであり、その相乗効果により交流人口の増加、延いては村上市の南の玄関口として当地域の発展を目指すことが望まれます。

以上を当地域のまちづくりの基本的方向として答申いたします。

なお、合併により今まで培われてきた歴史・文化などの地域色が薄れ、コミュニティの維持が困難になることや、商工業の低迷など地域の活力が失われることを危惧する意見がありました。こういった市民の不安解消に向けた取り組みを積極的に実行し、「合併して良かった」と市民が実感できる村上市の建設のため、邁進くださるよう強く要望いたします。